

ECOモデル事例発表



NPO 法人

バイオマス丹波篠山

丹波篠山市の里山





サーキュレートエコノミー



ひょうごバイオマス**eco**モデル 採択実績

- 令和 7 年度

新たな活用手法の導入による 未利用木材の高付加価値化及び地域活性化（第 9 2 号）

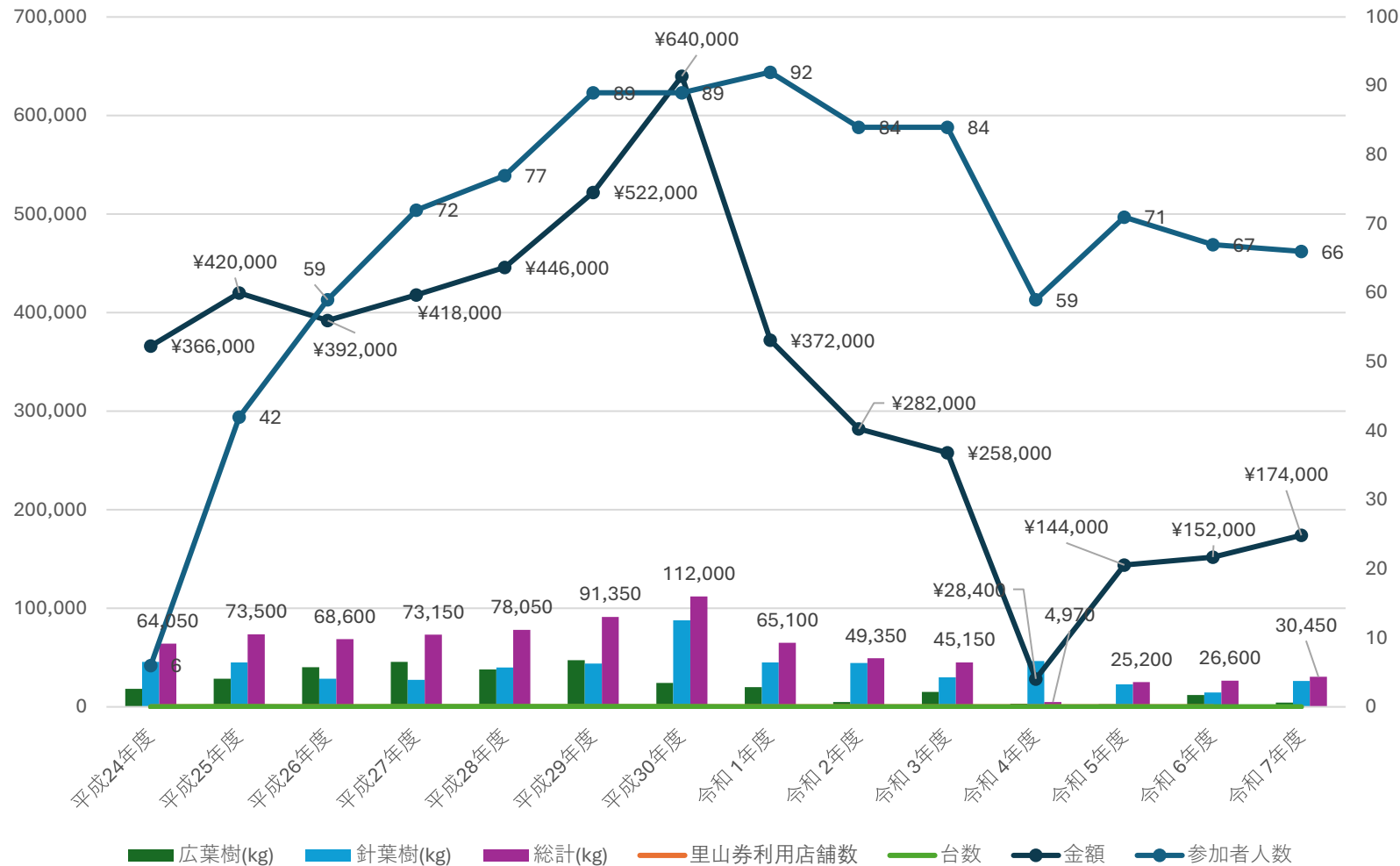
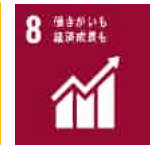
- 平成 2 6 年度

「木の駅」とペレット製造等による地域活性化、バイオマス利用普及啓発（第 6 4 号）

SDGsから見た活動内容、実績

SDGs達成への貢献	間伐や里山整備で、二酸化炭素をしっかりと吸収する元気な里山を蘇らせる⑬・⑮ 木製品提供で炭素固定を図りカーボンニュートラル燃料で二酸化炭素抑制に貢献する⑦・⑨・⑪・⑫・⑬、林副連携③、小学校森林環境教育④、木の駅project⑧・⑨・⑪、流域連携⑭、⑮、⑰
新規性・独自性	自ら間伐・里山整備を行うだけでなく、「木の駅」を通じて広く市民協働による里山整備を勧めている。（ひょうごバイオマスECOモデル第64号、92号） 木製品・木質バイオマス燃料を提供するとともに、各種イベントやワークショップを通じてその利用を広げようとしている。
波及性	「木の駅」を通じて地域全体に間伐・里山整備活動を広げている。 間伐・里山整備と木製品・木質バイオマス燃料利用の意義を学校、一般市民に出前講座、体験講座などを行うことで社会実装が可能である。クデジュウにおいては簡単な道具(のこぎり、ゴムハンマーのみ)で加工できるためDIYが可能。汎用性が高い為、家具との隙間などに利用できる。また、学校教育資材としても優れている。
継続性	サーキュラーエコノミを社会実装するためのフロントラインとして活動し、経済循環を丹波篠山市とともにやっている。間伐・里山整備では地域の「木の駅」登録会員との協働、木製品について製材店や大工店との連携を密にして、地域活性化を目指して継続的な運営に取り組んでいる。
活動実績	昨年度実績 ・「木の駅」を通じての木材搬出量30,000kg ・薪生産量 8,000kg ・組手什生産量 1,000本 ・市内2小学校で出前講座実施 ・木質ペレット生産量 70,244Kg ・割箸販売量 22,000膳
PR内容	丹波篠山市は山林面積が約75%もあり、この資源を木製品・燃料として有効利用することが、豊かで元気な山を蘇らせることになる。また、化石燃料の価格乱上下から脱却し安定経営を可能にし、二酸化炭素排出抑制につながる。そんな活動を今後も続け広げ兵庫県内に拡大していく。

丹波篠山木の駅Prjの推移



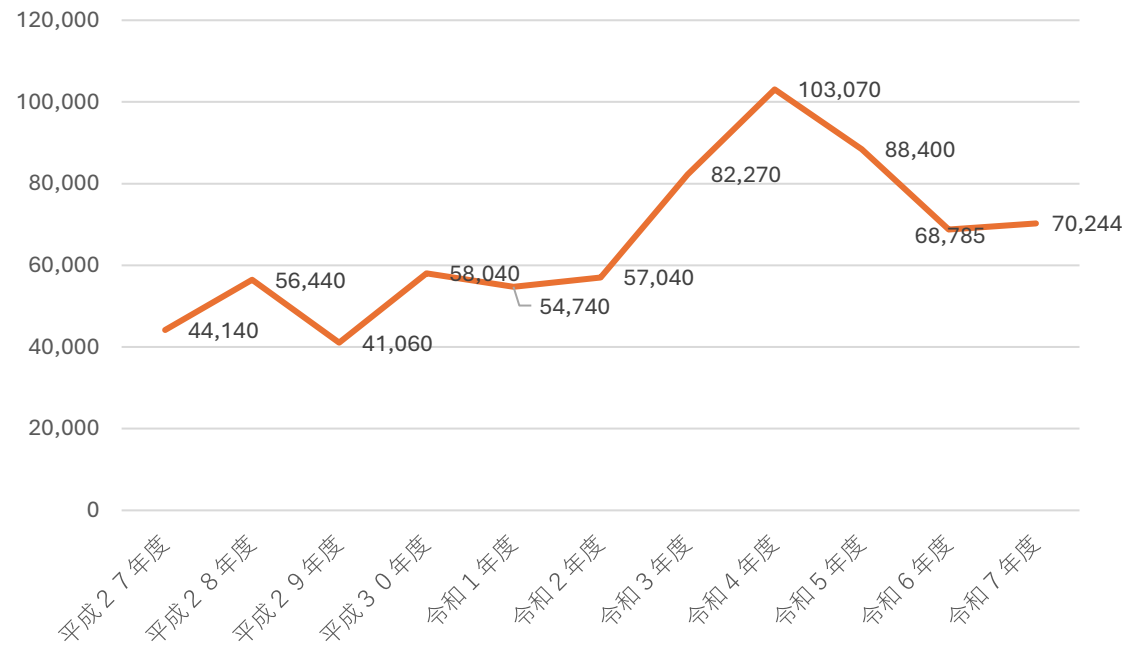
木の駅プロジェクトの流れ（イメージ）



木質ペレット製造推移



生産量 (k g)



ヒノキを間伐、里山を守ろう 丹波篠山の小学生ら体験「職人さんってすごい」

2024/10/15 05:30

丹波



力いっぱいのごぎりを引いてヒノキを切る児童＝丹波篠山市打坂



間伐作業を体験する特別授業が、西紀小学校（丹波篠山市栗竹）であった。5年生6人が近くの山に入り、のごぎりをひいてヒノキを伐採。作業の苦労や森林を整える大切さを学んだ。

環境問題や地域の里山の現状などを知る機会として、同校で10年ほど前から実施。木質資源の利用促進や里山整備などに取り組む地元のNPO法人「バイオマス丹波篠山」が指導協力している。

初めに同法人のメンバーが教室で地球温暖化などの問題や、森が手入れされなくなり荒廃が進んでいることを説明。現状のままでは自然災害につながるとし、間伐で山を整えることが大切だと伝えた。座学のあとは学校近くの人工林へ移動。かつての段々畑が竹林になっていた

り、間伐されず草や低木がほとんど生えなくなったりする里山の現状を目の当たりにした。

間伐は直径20センチほどのヒノキを選び、児童たちは交代しながら幹に少しずつ切れ目を入れていった。最後は大人も含めて全員で木をロープで引っ張って倒した。幹は50センチ程度に切り分け、それぞれ抱えて学校まで持ち帰った。

近藤優宇（ゆう）さん（10）は「斜面でバランスを取りながらのごぎりを引くのが難しかった。切った木はすごく良い香りがする」とにっこり。松島舞香さん（11）は「切り倒した瞬間に光が上から差し込むのを見て、間伐の意味がわかった。仕事にしている職人さんってすごい」としみじみ話していた。（秋山亮太）

“NPO法人バイオマス丹波篠山”の取組

・木 育

平成25年～



組手仕（くでじゅう）を教材として活用した木工授業



丹波篠山市立古市小学校5年生の1コマ



丹波篠山市立西紀小学校5年生の1コマ



☆☆西紀里山探検☆☆

“NPO法人バイオマス丹波篠山”の取組

(名前: 小夏)

西紀の里山を知るために、森林の学習や林業での体験などをしてきました。間伐材でできたゲ
ジュを使って学校に役立つ物も作りました。大好きな木や木の名前も調べしおりも作りました。

この学習を通して西紀の里山が元気な森になるために自分にできる10のことを考え、行動で
できればきっと『元気な森』につながるはずです。

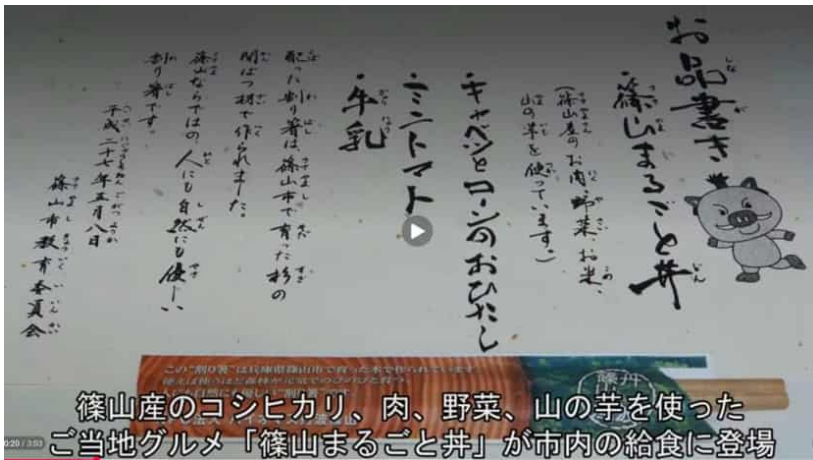
元気な森するために私たちにできること



1 大きい紙じゃなくて 小さい紙にためし ぬりをする。	2 いらない 二酸化炭素を 出さない。
3 紙せいひんを 大切に使う。	4 植物の芽や木の 芽をわざと ふまない。
5 水を 大切に 使う。	6 自然を 大事にする。
7 紙や電気、水などを むだなことに 使わない。	8 いらない物を たくさん買わない。
9 ごみを 山に捨てない。	10 (森林) 山に何か落としたら そのままじゃなくて きちんとひろう。



“木材カスケード利用の為に 私たちはお箸の国の人だから” ～食と健康と未来への橋渡し～



まごころいっぱい「篠山の木のお箸と篠山まるごと丼給食」を検索！

篠山産のコシヒカリ、肉、野菜、山の芋を使った
ご当地グルメ「篠山まるごと丼」が市内の給食に登場



バイオマス
からワクワク
することを！

URL : www.bio-sasayama.com/
F B : NPO法人バイオマス丹波篠山

